

Rotary



宮崎南週報

インスピレーションになろう



バリー・ラシン
2018-18年度RI会長

南の風、吹かそう皆で！

宮崎南ロータリークラブ
会長 早瀬清則

第1983回例会 2018.11.12

会長／早瀬清則 幹事／山地久守
副会長／小園隆司 会報／三重野孝
例会場／宮崎観光ホテル
ソング／奉仕の理想
ロータリーの目的

会長挨拶

早瀬清則会長



皆さんこんにちは、私は先週6日に高鍋ロータリークラブ主催の講演会を聞きに行きました。これは坂田会長さんから直接お誘いがあったからですが、講演をされたのは宮城県女川町の須田善明町長で、テーマは「東北の震災と女川町の復興、そして防災について」がありました。内容について少し紹介させて頂きます。

平成23年3月11日、14時46分、三陸沖で発生したマグニチュード9、震度7弱の地震と津波により、東北沿岸部がほぼ壊滅状態にになりました。その中で、女川町は住民、約1万人の内1割が犠牲になり、7割の建造物が失われ、被災率が最大の自治体となりました。

この最悪の中から、立ち上がったのが須田町長であります。須田さんは39才の時、被災8ヶ月後の町長選で女川町のかじ取りを任せられました。そして今、2期目の46才です。

「女川に生まれ、女川に育ち、これからも女川で生きて行く」その強い信念で、マイナスからの復興がスタートしました。1年目…がれきの撤去、2年目…整地、3年目…町作り、4年目…モダンな駅とテナント型の商店街が完成しました。

そして今年は、都市作り関連のコンクールで1位

出席委員会報告

島田博良委員長

●出席状況

本日状況		前々回状況	
会員数	(42) 46名	会員数	(42) 46名
本日欠席者数	17名	ホームクラブ出席者数	29名
本日出席者数	29名	メークアップ数	4名
出席率	69.05%	修正出席者数	33名
		修正出席率	75.00%

●前々回メークアップされた方／生田祥予会員、長澤好太郎会員、星野敬人会員
山崎栄一郎会員

ニコニコ
BOX 0件 累計 43,000円

募金箱 5,587円 累計 62,865円

になり、国土交通大臣賞も獲得され、多くの自治体の中で、今1番復興が進んでいるのが女川町だそうです。

須田町長、曰く「復興とは、そのプロセスにあり」との事、奥が深く体験した者にしか分らない重みのある言葉でした。

今回の講演会は、高鍋ロータリークラブの本年度テーマ「ロータリーの心を地域の人に届けよう」で企画されたもので、一般町民、行政関係者、報道関係者など、併せて約300名の参加者が有り、大変素晴らしい講演会でした。

高鍋ロータリークラブの皆さん活動に、改めて敬意を表したいと思います。

幹事報告

山地久守幹事



・宮崎いのちの電話事務局より電話相談員養成講座受講生募集の案内がきています。

応募されたい方は、0985-33-9557にお問合せしてください。

Rotary



●新会員の参加 (Induction of New Members)

クラブはすべての新会員に対し、クラブ協議会や地区大会を含め、クラブと地区の行事に出席するよう奨励すべきである。クラブはまた、可能な限り新会員をクラブ委員会に配属すべきである。

親睦委員会

高瀬俊彦委員長



・12月17日(月)年末家族懇親会を行います。後日ご案内をボックスに入れさせていただきます。尚、12月16日(日)はゴルフコンペを予定しております。

国際奉仕委員会

大田寛子委員長



タイ国際奉仕のためのご寄付のお願い

今年度もタイ・オムコーエ郡への支援のため、安川会員と私の2名でタイに赴くことになりました。宮崎南ロータリークラブではこれまで、蓮田ロータリークラブと共に

タイ北部への支援を行ってまいりましたが、今年度は初めて当クラブ主導による、地区補助金を利用してのオムコーエ郡看護師養成のための奨学金授与が行われ、同様の内容でグローバル補助金に繋げられるかどうかのひとつの節目の訪問になります。

会員の皆さんに寄付という形で旅費の補助をお願いいたしたい所存でございます。

皆さまのご理解と温かいご支援をお願い申し上げます。

ペットボトルキャップ回収のお願い

宮崎南ロータリークラブでは、かねてよりペットボトルキャップの回収を行っております。集められましたペットボトルキャップは、ポリオワクチンの購入に役立てられます。つきましては、会社・ご家庭で出ましたペットボトルキャップを例会にお持ちいただけますようお願いいたします。お持ちの際は簡単に水洗いでいただけますと幸いです。

皆さまのご協力をお願い申し上げます。

本日のプログラム

会員卓話

丸山一郎会員



皆さんこんにちは。今月で78歳になります。生まれた時のことはわかりませんが、空襲の記憶も残っておりますから本当です。先日中学の同窓会がありまして届託のない楽しい時間を過ごしましたが、80歳で終わりにしようと話し合い、時の流れを感じました。

次男ですがなぜか一郎と名づけられました。何故かと母に聞いたところ、爺ちゃんが政治家の鳩山一

郎が好きだったのでそうなったのよ」との答えでした。半信半疑ながら一応納得しておりました。中学2年のとき生徒会の役員選挙がありまして、私も勧められて立候補いたしました。各教室をたすきをかけて支持を訴え、講堂で全校集会があつて、選挙演説を行いました。次男で一郎は鳩山一郎のせいである。丁度鳩山氏が首相になった前かぐらいの時でしたから、是が受けて拍手が起きました。結果副委員長となりました。当時我が学年では成績の1位2位は不動でいくら頑張っても、運が良くて成れなかつた2位に初めてなつたのです。2位を予想されていた彼は東大を出て飛び切りの大会社の副社長までなつた男でしたから私としては頑張ったものです。去年77歳になったときにはっと気がついたのです。私の誕生日は11月16日です。16日で一郎か。手抜きしたなあと眞実に気がつくまで77年間も掛かったのです。しかし最近またそれも本当かなと落ち着かないであります。

さて、枕は是ぐらいにして今日は「日本人と韓国人は似ているようでなぜこんなに違うのか」という考査をしてみたいのです。別にそれについて興味や知識がある訳ではありません。徴用のニュースを見てふと思いついただけです。日本吹き溜まり論という考え方と日本辺境論という考えがあります、朝鮮半島はアジアの辺境です。中国の中心地での戦いに敗れた人々が逃げてを繰り返しその戦いに敗れた人々が逃れてきたのが日本です。遺伝子から見ても共通する割合は多いはずです。なのに徴用工や慰安婦問題にしても何でこんなにしつこく何度も何度も蒸し返すのかというのが日本人の想いでしょう。最近歴史研究が進んで日本史の常識が変わったといわれております。縄文時代も1万年を超える長きに渡りその間にしっかりした文化を築き朝鮮半島南部とも同一文化圏とも言うべき交流を重ねていたようです、従来の常識では古代日本は文化的に劣った国で文物や政治のシステムなどすべて中国や朝鮮から来たといわれていましたが縄文の時代から朝鮮南部には倭人が住み倭人の国とも呼べるほどの勢力を持ち戦いをしたりその後出来た新羅や百濟に援軍を送ったりして活発な交流があったようですし、新羅や百济から大和朝廷に朝貢、貢物があった事実があります。朝鮮は中国と地続きですから中国の文化や政治システムをそのままの形で受け入れ小さな中国を目指しました。日本はさらに端の端の辺境です。中国はあこがれです。朝鮮を通じて中国の文化を導入しまし

た。そこで朝鮮の人には日本を教えたのは朝鮮だという自負があります。しかし日本には導入したのは中国のものであって朝鮮は経由地に過ぎない。相互扶助の一環だというぐらいの感覚だったかも知れません。

特に近代では日韓併合までやったのですから。いらだたしい気持ちと自負心が鬱積して抑えかねるということなんでしょう。日本は中国から取り入れるべきは取り入れました。しかし経済力もありませんから徹底したことは出来ませんでした。出来なくとも海を隔てた辺境ですからいちいち調べにくることも無い。そこで出来ることを適当にやるという文化が生まれました。何しろいろんな人の吹き溜まりでそこから出て行くことは出来ません。DNA的にも日本は一番多様な国だそうです。韓国よりも中国よりも。その多用な民族が折り合いをつけて生きていく文化。自己主張や信念や正義より雰囲気を読む気を重視するという生き方が日本人の生き方になったといえるでしょう。まわりをきょろきょろ見て気を読んで物事を決める。決めたのは誰かはっきりしない。外国との比較を重視し自分のたち位置がはっきりしない。周りが変われば一日にして変化する変わり身の早さ。良きも悪しきにも今の日本人の性格が作られてきたといえると思います。

韓國の方の自己能力の高さ自負心の強さ表現力も豊かで圧倒されます。思いあるところ事はなるといいますからこれからも韓国は伸していくでしょう。しかし自己反省や他に対する思いやりの面欠けることが多いと思います。まして戦後処理もすんでいない北朝鮮と一緒にでもなれば同対処していくか大問題です。結論はやはり相互理解しかないと思います。

戸高勝利会員



皆さんこんにちは。昨日11日で69歳となりました。11月11日は世界平和記念日となっておりますが、これは第一次世界大戦の終結の日であります。その事を69年ぶりに昨日知りました。ヨーロッパでは休日になっているようです。

今日はイオンとJR九州について現状を話しますが、イオンモール宮崎店は店舗数、売上で九州一になっております。ただ出店店舗に早くも売り上げ格差が出ており、厳しい競争が続きます。イオンモールは「物」から「事」へと戦略をシフトしており時間消費型を定着させ、集客の向上を図っており成果

が出ております。JR九州と宮崎交通の共同開発についてですが、面積が狭く、商業エリアが50店舗と小ぶりなアミュプラザになるようです。シネコンは全国的に苦戦している中で核店舗となるようです。また、一番街まで800メートルと距離があり中心地との連携は難しいかも知れません。しかし宮崎県の中心となる駅開発ですので東急ハンズなどのテナントを入れ、地元商店との共存、共栄の戦略を練り直し「駅から始まる、心はじける宮崎」などの夢あふれるキャッチフレーズをコンセプトに県民の為の駅開発を進めて頂きたいと考えます。

今日は失礼承知で生意気な事を申しましたが、お許しを願いたいと思います。